

News Letter

Vol. 105 / 2026年2月発行



未来のリーダー教室 「中高生のための言語化講座」を開催しました

2026年1月11日（日）、中高生を対象に特別企画「中高生のための言語化講座」を御茶ノ水ソラシティコンファレンスセンターにて開催しました。当日は合計32名が参加し、講師に山口拓朗氏を迎えて、講義とワークを通じ、自分の考えを整理し相手に伝える方法について学びました。講義で学んだポイントをその場で言葉にしてみるなど、実践を交えながら理解を深めました。

受講者からは「今後の活動などに活かせそう」「学びを意識して生活することで、少しずつでも確実に言語化能力を高めていきたい」「卒業研究に向けて、他者に関心を持ってもらえる発表のしかたのヒントになった」など、学びを今後に活かしていきたいという声が寄せられました。



山口拓朗 講師



アイスブレイクを通して
話しやすい雰囲気づくりへ



講座後の交流の時間
感想を共有しながら親睦を深めた



具体例を交えて言語化のポイント紹介

理科教育助成 理科教育賞受賞校に実践研究の取組のお話をうかがいました

理科教育賞 優秀賞

潮来市立延方小学校

科学的思考力の育成を図る理科・総合的な学習の時間の学習指導～車づくりを共通課題とした学習指導の工夫を通して～



高岡成郎校長(左) 窪谷理先生(右)

小学校で理科を習う3年生から6年生までが、各学年の学習内容を活かしながらも、おなじ教材でおなじ目的のもと取り組みをおこない、子どもたちの主体的な科学的思考力の育成をはかった学校があります。茨城県潮来市立延方小学校は、「車づくり」を学習に取り入れ、レース競争やスーパーカーづくり、さらにモーターショーを通じて、子どもたちの学習への主体性、科学的思考力、コミュニケーション力を育成してきました。同校は、日産財団の理科教育助成を活用したこの研究「科学的思考力の育成を図る理科・総合的な学習の時間の学習指導～車づくりを共通課題とした学習指導の工夫を通して～」により、2025年度理科教育賞の優秀賞を受賞しました。研究を主導した窪谷理先生は、子どもたちが「ときめき」をもって学ぶことを重視したと振り返ります。校長の高岡成郎先生は、競争を取り入れたことや、4学年にわたる系統だった授業をおこなったことの意義を強調します。

こちらからインタビュー全文をご覧になれます
https://www.nissan-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/interview_itako-nobukata.pdf

理科教育賞 優秀賞

学校法人浅野学園 浅野中学・高等学校

簡易CO₂濃度計を用いた呼吸速度・光合成速度の測定と生態系の炭素収支測定への応用



小山悠太先生（左）、古梶裕之校長（右）

自然現象を定量的に測定する体験は、生命の営みを感じられるため、子どもたちの自然や環境への関心につながるもので、環境教育が重視されるなか、植物の呼吸・光合成の測定を取り入れた授業を起点に、環境保全につながる研究に自ら取り組む生徒を支援・育成している学校があります。浅野中学・高等学校はCO₂濃度計を用いた実験の授業から、生徒たちの探求・研究活動へと展開し、多くの生徒たちの考え方や意識の変容を導きました。同校は日産財団理科教育助成を活用したこの研究「簡易CO₂濃度計を用いた呼吸速度・光合成速度の測定と生態系の炭素収支測定への応用」により、2025年度理科教育賞優秀賞を受賞しています。研究を主導した小山悠太先生は、生徒の探求心を伸ばす上で、生徒自身のやりたいことを尊重する大切さを話します。校長の古梶裕之先生は、教師から自ずとわいてくるその分野への興味のありさまが、生徒を惹きつける力になることを実感している様子です。

こちらからインタビュー全文をご覧になれます
https://www.nissan-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/interview_asanogakuen.pdf